

### ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のご支援、ご高配を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。  
ここに、2022年度（第98期）における  
当社グループの事業の概況等をご報告申し上げます。

2023年6月

代表取締役社長

錦織弘信

## 第98期 ビジネスレポート

2022年4月1日～2023年3月31日



### 事業の概況

当連結会計年度の世界経済は、各国における新型コロナウイルス感染防止対策と経済活動の両立が進み、景気回復に向けた環境が整いつつありましたが、急激な物価上昇、原材料価格の高騰及び供給制約に加え、海外における金融引締め加速や、ロシア・ウクライナ問題等の影響もあって、景気は依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況下で、当社グループは、中期経営計画（2022～2024年）の基本方針「社会課題の解決に貢献する新たな価値を共創によって生み出し、グローバルトップのソリューションパートナーへ」の下で、社業の発展に向けた各種施策の実行に鋭意注力するとともに、店舗・オフィス・物流・製造各領域の課題解決に貢献するソリューションパートナーとして、お客様とともに、SDGs（Sustainable Development Goals）達成に向けた取り組みを推進し、持続可能な社会への貢献に努めてまいりました。

売上高については、海外市場向けPOSシステム及び海外市場向け複合機の売上が為替の影響や米州での伸長等により増加したことなどから、5,107億67百万円（前連結会計年度比15%増）となりました。なお、売上高の前連結会計年度からの増加額654億50百万円の内、為替の影響による増加額は約492億円であります。損益については、部品及び国際貨物輸送の需給逼迫・価格高騰の影響等はあったものの、複合機の損益が改善したことなどから、営業利益は160億78百万円（前連結会計年度比39%増）、経常利益は131億49百万円（前連結会計年度比29%増）となりましたが、特許係争事案に関する「訴訟損失費用」を特別損失に計上したこと及び繰延税金資産の一部取り崩しを行ったことなどから、親会社株主に帰属する当期純損失は、137億45百万円（前連結会計年度は53億81百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

### 2022年度の連結業績

	2022年度	2023年度 通期の予想
売上高	5,108億円	5,200億円
営業利益	161億円	180億円
親会社株主に帰属する当期純利益（△損失）	△137億円	70億円

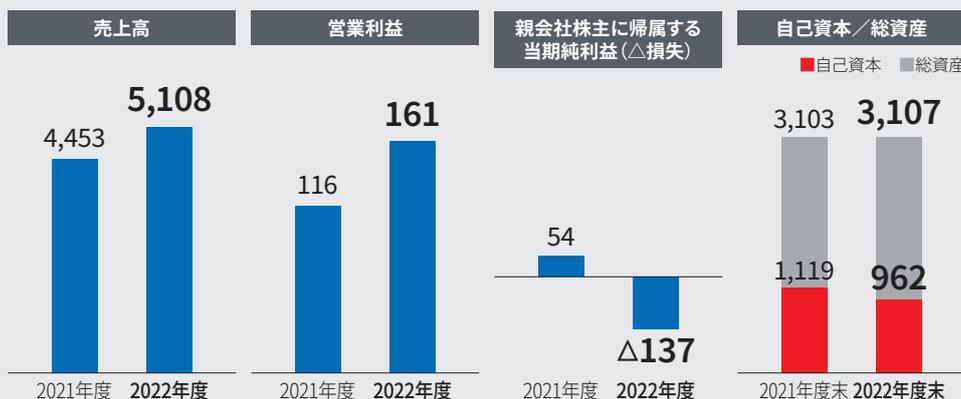
### 通期の見通し

今後の世界経済は、各国における経済対策等の効果により景気は緩やかに回復していくものとみられるものの、海外における金融引締め、原材料価格の高騰、長期化するロシア・ウクライナ問題等の影響により、景気は先行き不透明な状況が続くものと予想されます。

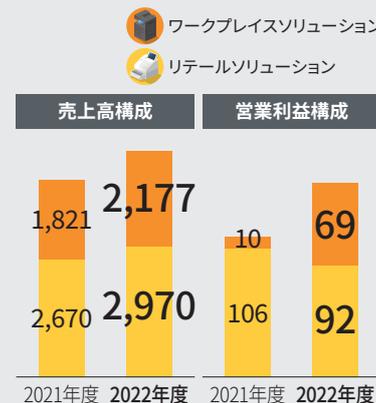
このような状況下で、当社グループは「グローバルトップのソリューションパートナーへ」という基本方針のもと、当社のフィジカルアセットであるグローバルな顧客基盤と営業・保守網を活かし、パートナーとの共創によりエコシステムを構築し付加価値の高いソリューションの提案を進めることで、社会課題の解決に貢献するとともに、企業価値向上を目指してまいります。

2023年度の連結業績予想は、上記方針等を踏まえて左記のとおり見込んでおります。

### 連結業績ハイライト（単位：億円）



### セグメント別グラフ（単位：億円）



# C A L E N D A R

## 東芝テックカレンダー 2022-2023

下期のトピックス 月の区分は原則としてトピックスの発表月です。

**10月**



**2022年度グッドデザイン賞 受賞 視覚に頼らない デジタル複合機のUI**

当社はデジタル複合機のアプリケーションであるe-BRIDGE Plus for Voice Guidanceについて、2022年度グッドデザイン賞 (GOOD DESIGN AWARD 2022) を受賞しました。

e-BRIDGE Plus for Voice Guidanceとは、視覚障がい者が音声ガイダンスとシンプルなパネル操作により、視覚に頼らずにデジタル複合機を操作するためのアプリケーションです。開発には、当社の視覚障がいのある従業員とともにアイデアを抽出、視覚障がい者が一般的に使用している機器の使い勝手と親和性のある操作方法を模索し、よりわかりやすく、親しみやすいUIを目指しました。



**12月**



**東芝テックグループグローバル連携による エコシステムの構築について**

当社は米国子会社の東芝グローバルコマースソリューション社と連携のうえ、グローバルリテールプラットフォーム「ELERA」を活用したエコシステムを構築し、新規事業領域およびDXソリューションのさらなる拡大を目指します。

多様化するDXソリューションの要望に迅速に対応していくため、東芝グローバルコマースソリューション社はダラスにInnovation & Incubation hubを設立し、当社では今後、国内の開発人員の一部をこの拠点へシフトすることも検討しています。2025年には現状の約5倍の数百名規模の開発体制の構築を目指し、日米でのシームレスな開発体制の下でシステム運用監視保守サービスや、データサービス、セキュリティサービスなどの各種リテールソリューションサービスをAs a Serviceとして提供するプラットフォーム開発を促進します。



(上図写真) Innovation & Incubation hub

2022 **10月**

**11月**

**12月**

**10月** 東芝テック、Snowflake  
OCT マーケットプレイス上で  
POSパネルデータ提供の  
トライアルを開始  
専門店接客支援システム  
「Shop Unify」の発売について

**11月** 東芝テックとSGST、配膳ロボット「KettyBot」の  
NOV 全国展開と導入サポート開始  
東芝テック製POSシステムに標準対応  
より進化した新型多機能決済端末を発売  
東芝グループ、リンクアンドコミュニケーションが  
参画! 大分県DX推進事業として  
【購買データ×健康データ】を活用した  
AI提案型健康増進プログラムの実証実験を開始

**12月** データ分析のデジタルトランス  
DEC フォーメーションの  
推進支援に向けた協業を開始  
家族のごはんをサポートする  
アプリ「うちれび」と  
電子レシートサービス  
「スマートレシート®」が連携



### トピックス 中期経営計画 (2023~2025年度)

全社 事業転換と企業変革を実行し、  
基本戦略 社会課題解決へ貢献する

全社目標 事業転換と企業変革により  
計数 2025年度はROS 7.5%、ROIC 17.5%を目指す

#### 目指す姿 「グローバルトップのソリューションパートナー」

「徹底的な顧客志向」と「当社のノウハウ×パートナー貢献」により、新たな価値を創造する。



	2023年度計画 (USD 130円、 EUR 140円)	2024年度計画 (USD 120円、 EUR 130円)
売上高	5,200億円	5,150億円
営業利益	180億円	270億円
営業利益率 (ROS)	3.5% (RS <sup>*1</sup> : 3.6%、 WS <sup>*2</sup> : 3.2%)	5.2% (RS <sup>*1</sup> : 5.4%、 WS <sup>*2</sup> : 4.9%)
当期純利益	70億円	130億円
営業キャッシュフロー	295億円	354億円
投下資本利益率 (ROIC <sup>*3</sup> )	9.5%	13.4%

\*1 RS リテールソリューション

\*2 WS ワークプレイスソリューション

\*3 ROIC = 税引後営業利益 (営業利益 × (1 - 税率)) ÷ 期中投下資本 (有利子負債 + 純

12月



### 東芝テック、 小学館の幼児誌『幼稚園』 企業コラボ付録企画へ参画

当社は2021年に続き2回目となる小学館の幼児向け知育生活学習誌『幼稚園』企業コラボ付録企画に参画しました。2023年2月28日発売の『幼稚園』4・5月号に登場しております。

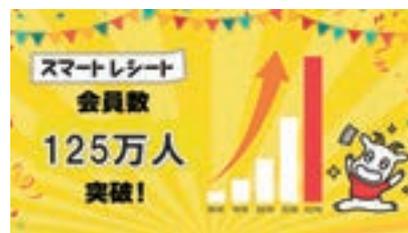
豪華でリアルな付録がつく雑誌として話題の小学館『幼稚園』において、当社の特集ページの掲載とともに、「ピピットセルフ」をモデルとしたセルフレジカートのペーパークラフト付録が同封されます。カートの形状や実際に使用されるスキャン音が鳴るセンサーを搭載するなど、実物の再現性に注力したに加え、一般的なスーパーマーケットの店内マップも付属し、カートでの店内回遊を疑似体験できるよう工夫しました。



### 電子レシートサービス 「スマートレシート®」 会員数125万人を突破!

東芝テックが開発・運営し、東芝データが運営を支援している電子レシートサービス「スマートレシート®」について、会員数が2023年3月31日時点で125万人を突破しました。

「スマートレシート®」は、電子化されたレシートの購買データを次の買い物に活かすことで、生活者に「もっといい買い物」の体験を提供し、店舗やメーカーの「もっとお客様が見える経営」をサポートします。私たちはこれからも電子レシートを活用した新しい価値を創造し、お客様に提供していくとともに、資源節約、環境貢献にも取り組み、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に一層貢献してまいります。



2023

1月

**1月**  
JAN  
店頭購入型のサンプリングサービス「テンタメ」と電子レシートサービス「スマートレシート®」がID連携を開始

スマートフォンアプリサービスによる食生活改善と食品ロス削減の実証実験について

2月

**2月**  
FEB  
株式会社Bespoへの追加出資のお知らせ  
量販店・専門店・飲食店向けPOSターミナル「WILLPOS」新シリーズの発売について

東芝テック、『第57回スーパーマーケット・トレードショー2023』に出展

東芝テック、『リテールテックJAPAN 2023』に出展

3月

**3月**  
MAR  
HACCPに対応可能な手洗いAI判定システム「Visual Wash」の発売について  
新千歳空港一部商業施設にて電子レシートサービス「スマートレシート®」を導入

東芝テック、RFIDパッケージソフト「RF異物検知」と「RF簡単棚卸」を同時発売

電子レシートサービス「スマートレシート®」と「NAMBAMARUTTO(なんばまるっと)」アプリが連携開始



### 株式会社リコーと東芝テック株式会社の業務提携並びに複合機等の開発・生産の統合に関する事業統合契約及び株主間契約の締結

株式会社リコーと東芝テック株式会社は、会社分割等により複合機等の開発・生産に関する事業を統合するに当たっての諸条件を定めた契約、及び本事業統合に係る株主間契約を締結することを両社の取締役会で決議しました。両社は本決議に基づき、両社を株主とする複合機等の開発・生産を担う合弁会社を2024年4月1日から同年6月30日の間の別途定める日に組成することを目指し、会社分割等の手続きを進めてまいります。

両社は、共創により生み出した競争力のある高品質・高付加価値な製品を、それぞれのブランドで、それぞれの会社のユニークなユーザーエクスペリエンスを追求した製品として世界市場向けに提供します。それぞれの販売チャネルを通じて、さまざまなソフトウェアやサービスと組み合わせたソリューションとして提供し、顧客基盤や強みを生かしてお客様の業務ごとのニーズに寄り添ったデジタル化やワークフロー改善による生産性の向上に貢献します。そして、お客様が取り組むオフィスや現場のDX実現を支援することで、社会課題の解決に貢献します。



2025年度計画  
(USD 120円、  
EUR 130円)

5,200億円

390億円

7.5%

(RS\*1:7.7%、  
WS\*2:6.9%)

210億円

530億円

17.5%

# 会社概要

## 会社概況 (2023年3月31日現在)

商号	東芝テック株式会社 Toshiba Tec Corporation
設立	1950年2月21日
本店所在地	東京都品川区大崎1-11-1 (ゲートシティ大崎ウエストタワー)
連結子会社	国内：8社／海外：59社
資本金	39,970百万円
従業員数	連結：18,906名／単独：3,367名
発行済株式総数	57,629,140株
自己株式数	2,281,668株
株主数	7,562名

## 役員状況 (2023年6月30日現在)

### 取締役及び監査役

代表取締役社長	錦織 弘信 (社長執行役員)
取締役	内山 昌巳 (専務執行役員)
	湯沢 正志 (常務執行役員)
	大西 泰樹 (常務執行役員)
	武井 純一 (常務執行役員)
	谷 尚史 (常務執行役員)
	三原 隆正
	桑原 道夫 *1
	長瀬 眞 *1
	森下 洋司 *1
	青木 美保 *1
監査役	富沢 幸樹 [常勤]
	山口 直大 [常勤]
	梅葉 芳弘 *2
	大澤 加奈子 *2

### 執行役員 (取締役兼務者を除く)

執行役員	古山 浩之
	小山 幸男
	平等 弘二
	中村 鐵也
	千代 豊
	平 和樹
	下川 司郎

- \*1 東京証券取引所の定める独立社外取締役であります。
- \*2 東京証券取引所の定める独立社外監査役であります。

## 株式事務についてのご案内

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会関係／3月31日 期末配当関係／3月31日 中間配当関係／9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行(株)
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行(株) 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行(株)の本店及び全国各支店で行っております。

### 注記

- 記載金額は、原則として億円単位は表示単位未満を四捨五入、百万円単位は表示単位未満を切り捨てて表示しております。
- 事業別売上高は、事業間の売上消去前にて表示しております。
- 業績予想については、2023年5月11日に公表した内容を記載しております。これは、当社が公表日現在入手していた情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## 東芝テック株式会社

当社WEBサイトにて株主様、投資家の皆様向けの情報をご覧いただけます。



### 投資家情報 (IR)

株価、株式情報、財務・業績、IR資料等の情報をご紹介します。

### サステナビリティ

SDGs、環境、社会貢献活動などに関する情報をご紹介します。また、統合報告書等も掲載しています。

<https://www.toshibatec.co.jp/>